

邑楽町農業委員会の委員の推薦・応募状況(中間公表)

No.	推薦・応募の別		候補者								推薦をする者			推薦・応募の理由
	推薦	応募	氏名	職業	年齢	性別	認定農業者	経歴	営農類型	農業経営状況	法人又は団体		個人	
											名称	代表者	代表者氏名	
1	○		横山 正行	無職	74	男	非該当	・昭和45年 邑楽町役場入職 ・平成24年 邑楽町商工会入職 ・現邑楽町農業委員(3期目)					阿部 昌弘	元役場職員として培った行政の知識と経験が豊富であり、また役場退職後も地域の自治会長等を歴任され、地域との繋がりも深く人望も高く評価されていることから農業委員として適任であります。
2	○		金子 節夫	農業	62	男	該当	・平成27年～ 邑楽館林農業協同組合(総代) ・平成27年～ 待矢場両堰土地改良区(総代) ・令和7年～ 邑楽町認定農業者協議会(会長) ・現邑楽町農業委員(3期目)	水稻、二条大麦、白菜、キャベツ	経営面積 60,500㎡ 農業従事日数 250日/年間	邑楽町認定農業者協議会	金子 節夫		現在、邑楽町農業委員職務代理者として精力的に活動し、地域農業の維持・発展に大きく貢献している。また、邑楽町認定農業者協議会会長としても活躍しており、地域農業の現状や農業施策にも精通している。経歴・人望ともに申し分ないため、農業委員に推薦する。
3	○		中村 政五郎	農業	58	男	該当	・令和7年～ 邑楽町認定農業者協議会(役員) ・現邑楽町農業委員(2期目)	水稻、麦、白菜、ナス	経営面積 35,000㎡ 農業従事日数 220日/年間	邑楽町認定農業者協議会	金子 節夫		現在、邑楽町農業委員及び邑楽町認定農業者協議会役員として精力的に活動し、地域農業の維持・発展に大きく貢献している。また、自家栽培した白菜を漬物として加工し、おうらブランドとして販売するなど地元の活性化にも貢献している。地域農業の現状や農業施策にも精通しており経歴・人望ともに申し分ないため、農業委員に推薦する。
4	○		小林 修	農業	53	男	該当	・令和5年～ 邑楽町認定農業者協議会(副会長) ・令和7年～ 邑楽町農業振興地域整備促進協議会委員 ・その他、邑楽町農業青年会議会長、邑楽館林農業協同組合青年部副部長 及び西邑楽支部長等を歴任し、現在に至る ・現邑楽町農業委員(2期目)	白菜、ナス、ネギ、キャベツ	経営面積 104,900㎡ 農業従事日数 240日/年間	邑楽町認定農業者協議会	金子 節夫		現在、邑楽町農業委員として精力的に活動し、地域農業の維持・発展に大きく貢献している。また、邑楽町認定農業者協議会副会長としても活躍しており、地域農業の現状や農業施策にも精通している。経歴・人望ともに申し分ないため、農業委員に推薦する。

5	○		中野 文子	農業	54	女	非該当	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月～令和元年7月農地利用最適化推進委員 ・邑楽館林農村生活アドバイザー ・現邑楽町農業委員(1期目) 	米	経営面積 20,230㎡ 農業従事日数 180日/年間			相場 利夫	農地利用最適化推進委員を1期経験し、現在農業委員を務める。農業に対しての識見もあり、女性の立場から農業委員会の活性化に適任な人材である。
6	○		横山 宏	農業	64	男	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年に全国共済農業協同組合連合会を退職後、群馬県立農林大学校ぐんま農業実践学校を卒業後就農し、現在に至る。 ・現邑楽町農業委員(1期目) 	水稻、麦、キャベツ、白菜、ニガウリ	経営面積 88,100㎡ 農業従事日数 290日/年間	邑楽町認定農業者協議会	金子 節夫		現在、邑楽町農業委員及び邑楽町認定農業者協議会員として精力的に活動し、地位農業の維持・発展に大きく貢献している。また、農協職員として培ってきた経験や農林大学校で学んだ技術を生かし、地域住民から依頼されて除草作業をボランティアで行うなど、経歴・人望ともに申し分ないため、農業委員に推薦する。
7	○		島田 信成	農業	56	男	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年～ 邑楽町認定農業者協議会(役員) ・令和6年～ 邑楽町農業振興地域整備促進協議会委員 ・現邑楽町農業委員(3期目) 	白菜、にがうり、ナス、トウモロコシ、キャッサバ	経営面積 79,000㎡ 農業従事日数 300日/年間	邑楽町認定農業者協議会	金子 節夫		現在、邑楽町農業委員として精力的に活動し、地域農業の維持・発展に大きく貢献している。また、邑楽町認定農業者協議会役員や邑楽町農業振興地域整備促進協議会委員としても活躍しており、地域農業の現状や農業施策にも精通している。他にも、小学校からの農業体験を受け入れるなど経歴・人望ともに申し分ないため、農業委員に推薦する。